

会議録

会議の名称	令和2年度 第6回 西東京市地域自立支援協議会 計画策定部会
開催日時	令和3年2月3日（水曜日）
開催場所	書面開催（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたため）
委員	木下委員、橋爪委員、大伴委員、山口委員、小澤委員、根本委員、櫻井委員、天宮委員、小矢野委員、久松委員、鶴澤委員
議題	計画素案の検討について
会議資料の名称	資料1：計画素案 資料2：パブリックコメント お寄せいただいた意見と市の検討結果（案） 資料3：前回会議後の追加のご意見
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> その他（書面での意見内容ごとの要点記録）

会議内容

【書面開催】

※各委員から書面にてご意見をいただき、計画素案への反映の判断については会長に委ねることとする。

議題：計画素案の検討について（資料1から3まで）

【質疑応答】

（資料1について）

発言者：委員

本文の言い回しの修正等について

事務局回答

ご意見を踏まえ、事務局でも検討した上で、会長にあげさせていただきます。

発言者：委員

市が作成する印刷物を市民に親しんでもらうよう、フォントの種類についても、熟考してほしい。

事務局回答

フォントについては、親しみやすさや見やすさ、互換性等を考慮しながら、選択しています。

現在の計画書では、「メイリオ」という、一般的には見やすいと呼ばれ、互換性も高いフォントを使用しています。

委員

・p15 (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築は、全世代型地域包括ケアシステムの完成をもって達成します」の意味を説明してほしい。

事務局回答

同システムは、国が「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」を踏まえ、高齢期におけるケアを念頭に論じられている「地域包括ケアシステム」の考え方を、精神障害者のケアにも応用したものです。
また、本市においては、全世代型地域包括ケアシステムの完成を目指しており、その中に精神障害者の方も含まれます。
この説明については、素案の中でも記載しております。

・P12 7行目「ケースワーカー制の導入」
サービス等利用計画はサービスの実際の利用だけでなく、サービスや地域資源など広くどう活用して人生を組み立てていくかの相談支援と、障害者側ではとらえています。サービス等利用計画相談員とのすみわけはどうなのでしょう。

事務局回答

サービス等利用計画相談員は、障害福祉サービスの利用に伴って相談を受けますが、ケースワーカーはサービスの利用がない方からの相談も受けるため、より広い範囲を対象としています。
一方で、相談先が複数存在することにもなりますが、そこは必要に応じて基幹型や地域活動支援センター等も絡めながら、関係機関同士が調整していくものと考えております。

(資料2について)

発言者：委員

パブリックコメントに対する市回答案に対する意見。

事務局回答

ご意見を踏まえ、再度、事務局で検討いたします。

閉会

